

グローバル好配当株オープン

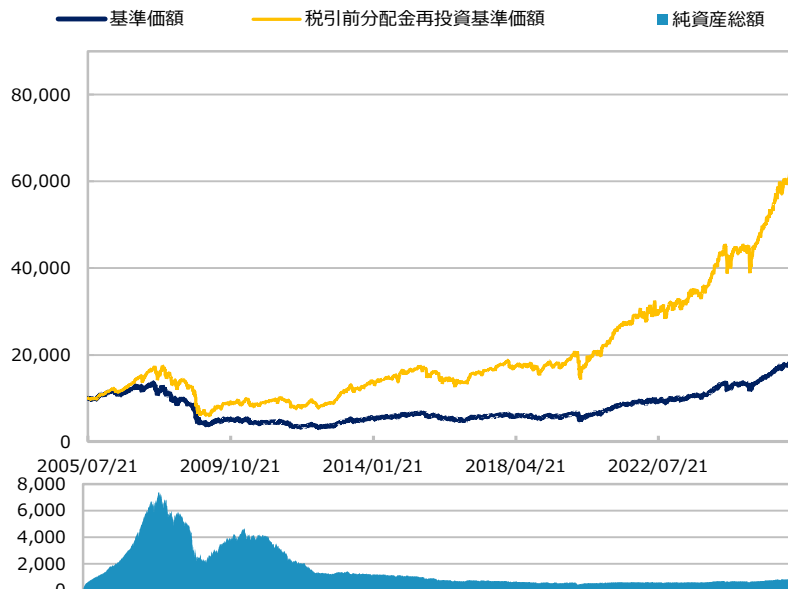
追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

ファンド設定日：2005年07月22日

日経新聞掲載名：グ好配当

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	18,984	+795
純資産総額（百万円）	84,671	+3,002

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（％）

	基準日	ファンド
1 カ月	2026/06/30	4.5
3 カ月	2026/04/30	8.1
6 カ月	2026/01/30	14.9
1 年	2025/07/31	35.3
3 年	2023/07/31	86.3
設定来	2005/07/22	548.1

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第245期	2026/03/09	20
第246期	2026/04/08	20
第247期	2026/05/08	20
第248期	2026/06/08	20
第249期	2026/07/08	20
設定来累計		9,280

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（％）

	当月末	前月比
組入マザーファンド	100.0	+0.0
現金等	-0.0	-0.0
合計	100.0	0.0

※ 組入マザーファンドの正式名称は「グローバル好配当株マザーファンド」です。

基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
株式	+905	+28	+877
先物等	0	0	0
為替	-70	-	-
分配金	-20	-	-
その他	-20	-	-
合計	+795	+28	+877

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。

※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

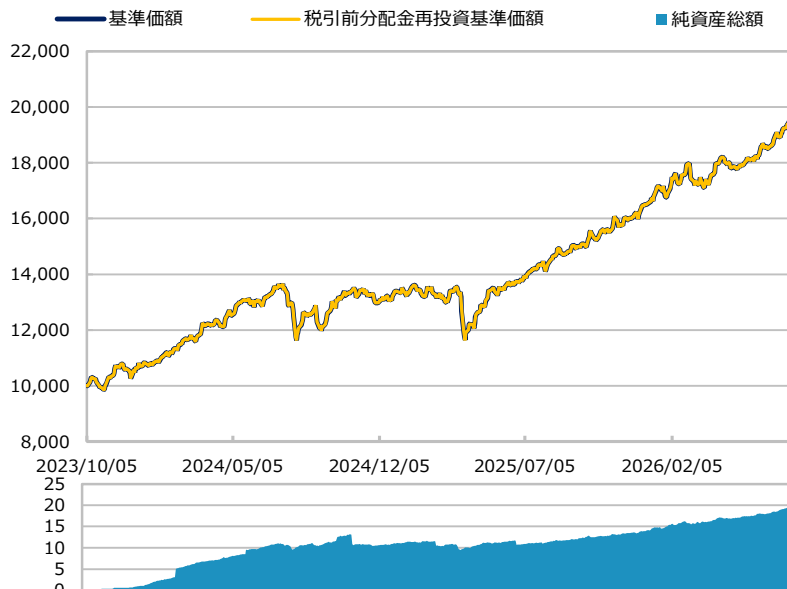
追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

ファンド設定日：2023年10月06日

日経新聞掲載名：グ好配当年1

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	19,445	+835
純資産総額（百万円）	1,937	+131

- 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（％）

	基準日	ファンド
1 ヵ月	2026/06/30	4.5
3 ヵ月	2026/04/30	8.1
6 ヵ月	2026/01/30	14.9
1 年	2025/07/31	35.3
3 年		
設定来	2023/10/06	94.5

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第1期	2024/01/09	0
第2期	2025/01/08	0
第3期	2026/01/08	0
設定来累計		0

- ※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（％）

	当月末	前月比
組入マザーファンド	100.1	-0.4
現金等	-0.1	+0.4
合計	100.0	0.0

- ※ 組入マザーファンドの正式名称は「グローバル好配当株マザーファンド」です。

基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
株式	+927	+28	+899
先物等	0	0	0
為替	-72	-	-
分配金	0	-	-
その他	-20	-	-
合計	+835	+28	+899

- ※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。



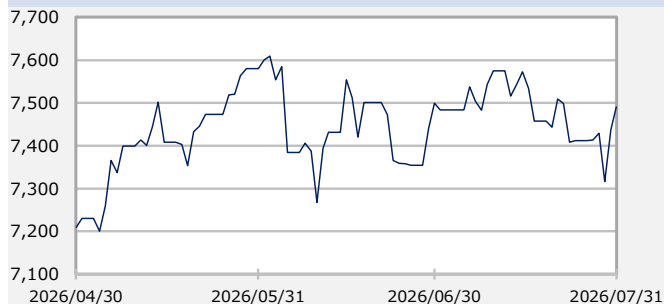
グローバル好配当株オープン / グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

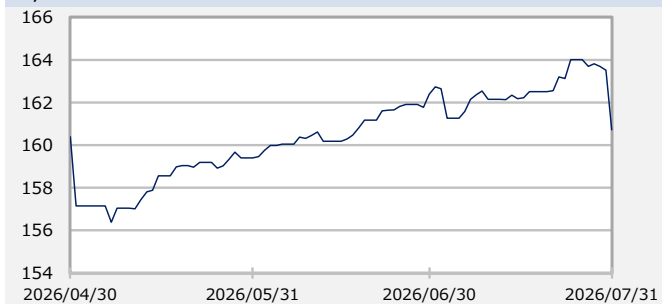
市場動向

S&P500インデックス



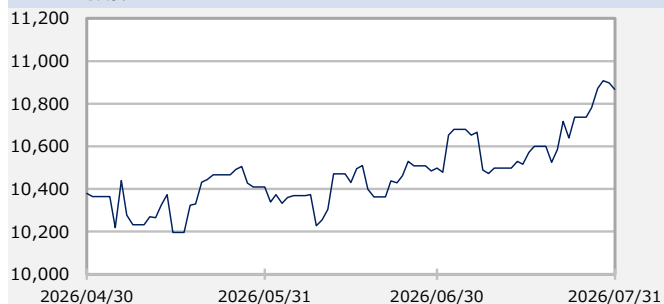
当月末：7,489.7 前月末：7,499.4 騰落率：-0.1%

円/アメリカドル（円）



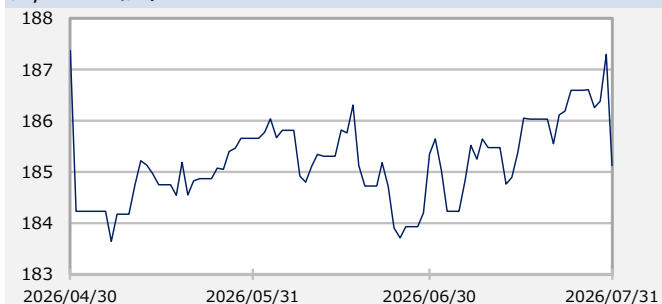
当月末：160.7 前月末：162.4 騰落率：-1.0%

FT100指数



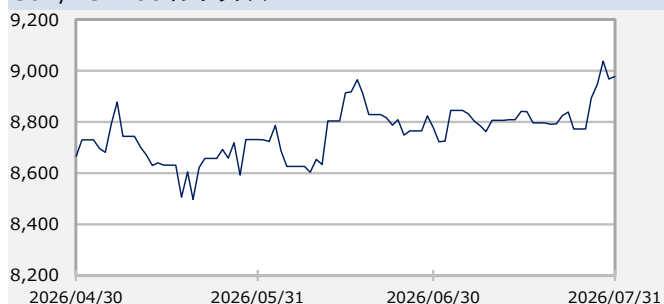
当月末：10,868.1 前月末：10,497.1 騰落率：3.5%

円/ユーロ（円）



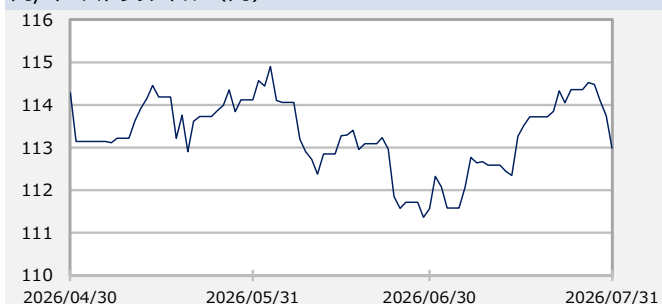
当月末：185.1 前月末：185.4 騰落率：-0.1%

S&P/ASX200インデックス



当月末：8,976.8 前月末：8,778.7 騰落率：2.3%

円/オーストラリアドル（円）



当月末：113.0 前月末：111.6 騰落率：1.3%

※ Bloomberg等のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成。インデックス等は注記がある場合を除き、原則として現地通貨ベースで表示しています。

※ 為替レートは一般社団法人資産運用業協会が発表する仲値（TTM）です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバル好配当株オープン / グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

※ このページは「グローバル好配当株マザーファンド」の情報を記載しています。

資産構成比率（％）

	当月末	前月比
株式	95.5	+0.2
先物等	0.0	0.0
現金等	4.5	-0.2
合計	100.0	0.0

ポートフォリオ特性値（％）

	当月末	前月比
配当利回り	3.2	-0.1

※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。

※ 配当利回りはBloombergのデータを基にした直近配当利回りです。Bloombergに配当情報がない銘柄は除いて算出しています。

※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

組入上位10通貨（％）

	当月末	前月比
1 アメリカドル	33.7	+1.2
2 ユーロ	27.0	+0.4
3 日本円	11.9	+0.1
4 オーストラリアドル	9.6	+0.0
5 シンガポールドル	5.0	+0.4
6 香港ドル	3.7	-0.1
7 イギリスポンド	2.2	-0.6
8 スイスフラン	1.9	-0.0
9 台湾ドル	0.5	-1.2

地域・国構成比率（％）

	当月末	前月比
北米	31.3	+0.3
アメリカ	31.3	+0.3
カナダ	0.0	0.0
欧州	33.5	+0.7
フランス	9.5	+0.5
スペイン	9.5	-0.7
ドイツ	3.8	+1.2
その他	10.7	-0.2
アジア・オセアニア	30.7	-0.8
日本	11.9	+0.1
オーストラリア	9.6	+0.0
シンガポール	5.5	+0.4
その他	3.7	-1.2

※ Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成。

組入上位10業種（％）

	当月末	前月比
1 銀行	14.4	-0.3
2 商業・専門サービス	10.7	+0.9
3 公益事業	8.0	-0.5
4 金融サービス	7.6	+0.3
5 エネルギー	6.7	+0.2
6 保険	6.5	+1.2
7 一般消費財・サービス流通・小売り	4.5	-0.0
8 資本財	4.3	-0.3
9 運輸	3.9	-0.3
10 保険業	3.7	+1.2

※ 業種は、外国株式がGICS（世界産業分類基準）による分類、国内株式が東証業種分類です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバル好配当株オープン / グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

※ このページは「グローバル好配当株マザーファンド」の情報を記載しています。

組入上位10銘柄（%）

（組入銘柄数 58）

	銘柄 国・地域/業種	配当 利回り	比率	コメント
1	DBSグループ シンガポール 銀行	4.2	5.0	シンガポールを代表する金融機関。資産規模は東南アジアで最大であり、また香港や中国など中華圏でも積極的に事業を展開。シンガポール政府が傘下の投資ファンドを通じて発行済株式の3割程度を保有する。
2	バンク・オブ・ニューヨーク・ Mellon アメリカ 金融サービス	1.4	2.8	主に証券管理、資産管理事業を手掛ける大手信託銀行。コスト管理強化により収益性が拡大していることに加えて、今後はステーブルコインの準備資産管理などによる成長が期待される。
3	イベルドローラ スペイン 公益事業	3.3	2.8	スペインの大手エネルギー企業グループ。主にスペイン、米国、英国において、発電、送配電事業を展開。データセンターなど世界的な電力需要の拡大や、送配電網の改修および能力強化による事業成長が期待される。
4	コンピューターシェア オーストラリア 商業・専門サービス	2.7	2.6	企業が発行する株式など証券に関連する事務サービスなどを行う豪州の証券代行機関大手。主要市場は米国。買収を含む売上成長と高い収益率を背景とした安定的な株主還元が期待される。
5	インドустリア・デ・ディセニョ・テキスタイル スペイン 一般消費財・サービス流通・小売り	3.0	2.5	主に「ZARA」などのブランドを手掛けるファッション小売企業グループ。デザインやマーケティングなど商品開発に加えて、効率的なサプライチェーン、物流システムを武器に売り上げ、利益、配当の成長が期待される。
6	アメリカン・ウォーター・ワークス アメリカ 公益事業	2.5	2.5	米国最大級の民間水道事業会社。上下水道の供給・管理を全米各地で展開。規制事業を中心とした安定収益のもと、人口増加やインフラ更新需要に伴う水道料金の改定により、中長期的な増収増益や増配が期待される。
7	マーシュ・アンド・マクレナン アメリカ 保険	1.9	2.4	傘下の事業ブランドを通じて、保険ブローカーやリスクアドバイザー事業、再保険の仲介、人事・人材戦略のコンサルティングなど企業向け専門サービスを手掛ける。企業のリスク管理ニーズ拡大とともに事業成長が期待される。
8	アクセンチュア アイルランド ソフトウェア・サービス	3.9	2.4	コンサルティング企業。経営等へのコンサルティングサービスのほか、アウトソーシング事業も展開。企業のDXが進みコンサルティングへの需要が高まるなかで、長期での成長性が期待できる。
9	B B V A スペイン 銀行	3.8	2.2	スペイン国内だけではなく、国際的に事業を展開し、特にメキシコ法人は高い市場シェアを誇る。銀行業務、資産管理、保険など幅広い金融サービスを提供し、今後の増益、増配が期待される。
10	東京海上ホールディングス 日本 保険業	2.7	2.2	損害保険大手。損害保険にとどまらずグループ各社が多様なサービスメニューを取り揃える。M&Aも駆使して海外事業を拡大。

※ 配当利回りはBloombergのデータを基にした直近配当利回りです。

※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

グローバル好配当株オープン / グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

※ このページは「グローバル好配当株マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

【株式市場】

米国株式市場は前月末と比較して概ね横ばいとなりました。中東情勢に対する懐疑的な見方が続くなか、原油価格上昇を受けた長期金利の上昇、韓国での反落をきっかけとした半導体関連銘柄全般の下落、AI関連市場の成長鈍化に対する警戒感などが、上値を抑えました。一方、4-6月期の企業業績が総じて堅調を維持したことが下支えとなったほか、月末近くにはマイクロソフトやアマゾン・ドット・コムが上昇し、市場全般に持ち直しました。

欧州株式市場は、上昇しました。米国やアジアの半導体銘柄下落の影響に加え、長期金利の上昇が上値を抑えましたが、エネルギー関連銘柄の上昇がプラス要因となりました。また、前月利上げを実施したECB（欧州中央銀行）は政策金利を据え置きました。

アジア・オセアニア株式市場では、香港市場は上昇しました。一部のアジア株式市場と比較して相対的に出遅れていたことに加えて、中国当局による景気支援策への期待が高まったことなどが好感されました。その他の市場では、世界的に半導体関連銘柄が売られる中、台湾が大きく下落しました。一方、インフレ懸念が緩和して利上げ観測が後退したオーストラリアが堅調でした。

【為替市場】

米ドル/円は下落しました。原油価格の上昇に伴う日本の貿易収支悪化が懸念されたことなどから、円安基調で推移しました。しかし月末にかけては、日米通貨当局が円買いの協調介入を実施したことから急速に円高が進む展開となりました。

ユーロ/円は下落しました。欧州金利の上昇やECBによる先行き利上げ観測の高まりを背景に、ユーロ高が進みました。しかし月末にかけては、日米通貨当局が円買いの協調介入を実施したことから急速に円高が進む展開となりました。

＜運用経過＞

当ファンドは、景気変動の影響を受けにくい業種に軸足を置き、減配リスクを考慮した運用を行いました。7月は、世界的な金利水準の上昇、高水準継続による増益、収益率の拡大が期待されることから、日本の大手生命保険銘柄を購入しました。一方、国内のデータセンター建設拡大による業績成長期待から株価が堅調に推移したことから相対的な割安度が弱まっていると判断し、日本の総合設備銘柄を売却しました。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバル好配当株オープン / グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

※ このページは「グローバル好配当株マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場見通し＞

【株式市場】

米国株式市場は、トランプ大統領が中間選挙に向けて強硬的な対外政策を続ける可能性があり、地政学リスクが依然残っていることや、一部に割高感も残っていることから、上値の重い展開が見込まれます。ただし、米国の企業業績は堅調な推移が今後も続くともみられ、徐々にレンジを切り上げる展開を予想します。

欧州株式市場も、不安定な中東情勢や金融政策に対する警戒感が当面の上値を抑える展開が見込まれます。ただし、ドイツをはじめとする欧州主要国での財政出動の効果が期待され、緩やかな上昇を予想します。

アジア・オセアニア株式市場は、AIの浸透が中長期的に経済成長や企業収益の改善につながるとの期待を背景にテクノロジー産業への投資や生産が拡大していることから、底堅い推移が見込まれます。ただし、米中の貿易協議を巡る不透明感や中東における紛争などがリスク要因として残ることから市場の変動性が高まる可能性があります。

【為替市場】

米ドル/円は米ドル高・円安を予想します。日米通貨当局による円買い介入への警戒が上値抑制要因となるとみられますが、金融政策の方向性は日米ともに利上げが想定されるなか、日米金利差が維持されることに加え、日本企業の対外直接投資拡大や家計の外貨建て投信購入拡大などが円安材料と見込まれます。

ユーロ/円はもみ合いの展開を予想します。日銀の利上げが想定され円高要因となることが見込まれる一方、ドイツなどの財政支出によりユーロ圏景気がサポートされることや、ECBの追加利上げ観測がユーロ高要因となる見通しです。

＜今後の運用方針＞

当面の株式市場は、情報技術など一部のセクターだけではなく、より広範囲なセクターにおいて業績・配当面で上方修正の余地がある銘柄の循環物色が続く可能性があります。

当ファンドは、過去の実績や経営陣の手腕等により、増配に必要な利益とキャッシュフローを継続的に増大させてきた「質の高い企業」の中から、主として足元の配当利回りと今後の配当成長性に着目し、財務の安定性や流動性を十分に考慮したうえで、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、企業の収益動向や配当政策などの変化に注目し、今後の継続的な増配が見込める企業へも投資します。引き続き、以下の3点を重視します。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバル好配当株オープン / グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

※ このページは「グローバル好配当株マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

1. 「経営実績や経営陣などの「会社の質」と配当実績が優れていること」
2. 「数年先までの成長持続性、売上やキャッシュフロー成長の確実性が期待されること」
3. 「今後の資本政策、特に配当を含む株主還元のスタンスが明確なこと」

「好配当株」企業への投資は、足元の相対的な配当利回りが高いだけでなく、今後、長期にわたり増配が続くという、「配当の成長」も重要です。優れた経営を実践している「質の高い」企業は配当政策など株主還元への姿勢も明確であり、投資家は定期的に配当収入を受け取りながら中長期の企業価値の成長（キャピタルゲイン）からも恩恵を受けることができます。

昨今の投資環境の変化を受けて、「好配当株」投資においても、今後の配当成長率と比較して足元の配当利回りが相対的に高い銘柄がより選好される可能性があります。当ファンドは、引き続き、配当利回りと配当成長率のバランスを重視した銘柄選択による安定的なパフォーマンスの実現を目指してまいります。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバル好配当株オープン / グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

投資リスク

■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。



グローバル好配当株オープン / グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

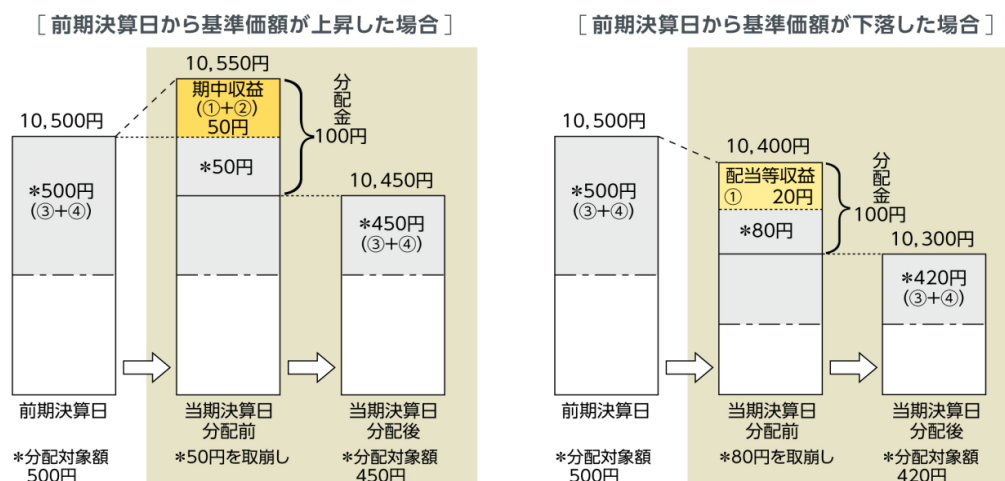
分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

〔計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合〕



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。

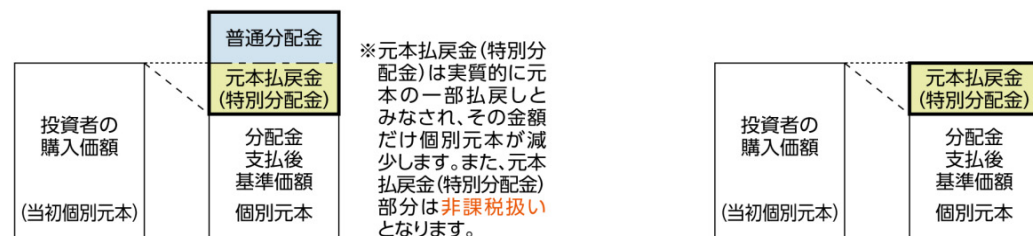
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※ 上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

〔分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合〕

〔分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合〕



普通分配金：個別元本（投資者のファンド購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

グローバル好配当株オープン / グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

信託期間

（毎月決算型）

無期限（2005年7月22日設定）

（年1回決算型）

無期限（2023年10月6日設定）

決算日

（毎月決算型）

毎月8日（休業日の場合は翌営業日）

（年1回決算型）

毎年1月8日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

（毎月決算型）決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

（年1回決算型）決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

●課税上は株式投資信託として取り扱われます。

●公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。

●（毎月決算型）は、NISAの対象ではありません。

●（年1回決算型）は、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

●配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

スイッチング

販売会社によっては、グローバル好配当株オープンおよびグローバル好配当株オープン（年1回決算型）の間でスイッチングを取り扱う場合があります。また、販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。



グローバル好配当株オープン / グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
購入価額に3.30%（税抜き3.00%）を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理费用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に年1.188%（税抜き1.08%）の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等
 ※ 上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
- ※ 少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合
少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、少額上場株式等に関する非課税制度であり、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。
ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした公募株式投資信託等を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ：https://www.smd-am.co.jp コールセンター：0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三井住友信託銀行株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバル好配当株オープン / グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会 第二種	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本S T O 協会	備考
S M B C 日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○	
株式会社 S B I 証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○	※1
F F G 証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第5号	○	○			※1
京銀証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第392号	○				※1
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長（金商）第21号	○				※1
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○	※1
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○		※1
三菱 U F J e スマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○	※1
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1771号	○				※2 ※1
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○	※1
株式会社あおぞら銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第8号	○		○		※2 ※1
株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第2号	○		○		※1
株式会社 S B I 新生銀行（S B I 証券仲介）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○		※3 ※1 ※4
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第7号	○		○		※3 ※1
株式会社紀陽銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第8号	○				※1
株式会社京都銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第10号	○		○		※1
株式会社京都銀行（仲介）	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第10号	○		○		※5 ※1
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第6号	○				※1
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第16号	○				※2 ※1
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第3号	○				※1
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第6号	○				※1
株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第47号	○		○		※1
株式会社大東銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第17号	○				※3 ※1
株式会社筑邦銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第5号	○				※1
株式会社筑波銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第44号	○				※1
株式会社東京スター銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第579号	○		○		※2 ※1
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第5号	○		○		※1
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第5号	○		○		※1
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第7号	○		○		※1
P a y P a y 銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○		※1
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第10号	○				※1
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○	○	○		

備考欄について

※1：「グローバル好配当株オープン」のみのお取扱いとなります。※2：新規の募集はお取り扱いしておりません。※3：ネット専用※4：委託金融商品取引業者
株式会社 S B I 証券※5：委託金融商品取引業者 京銀証券株式会社

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバル好配当株オープン / グローバル好配当株オープン（年1回決算型）

追加型投信／内外／株式

作成基準日：2026年07月31日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	一般社団法人 資産運用業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人 日本S T O 協会	備考
岡崎信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第30号	○				※1

備考欄について

※1：「グローバル好配当株オープン」のみのお取扱いとなります。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.